

富士市総合計画審議会委員からの意見及び対応一覧

令和 8 (2026) 年 5 月

総務部企画課

<基本目標 1>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
1	3	1-1-1	防災アプリを活用	高齢者の中にはアプリの利用が難しい人もいると思うが、使ってもらうための支援はしているのか。	市民向けの防災講座で使い方を伝えたり、民生委員の方から周知していただくよう働きかけている。	防災危機管理課	修正なし
2	3	1-1-1	関係機関等との連携強化	実体験として救急医療センターや中央病院の連携体制に不安を覚える。もっと連携強化をお願いしたい。	基本目標 3 に記載済み。(担当職員に共有する)	企画課	修正なし
3	4	1-1-2	木造住宅の耐震補強	耐震補強をする対象となる「旧耐震の木造住宅」という表現の方が適切ではないか。	本市の耐震化事業は、旧耐震、新耐震すべての住宅を対象として推進しているため、旧耐震だけに限定する表現としていない。	建築土地対策課	修正なし
4	4	1-1-2	災害に強い港づくり	ここの港は田子の浦港に限定しているのか。	港は田子の浦港のことである。	防災危機管理課	田子の浦港に関する記述を修正する。 <主な取組> 田子の浦港周辺において、国や県と連携し、ソフトとハード対策を組み合わせた津波対策や災害に強いまちづくりを推進します。
5	4	1-1-2	地域防災指導員など防災活動のリーダーとなる多様な人材を育成	まちづくり協議会の防災部会や町内会の防災に関連する集まりがあれば、ぜひ地域防災指導員にもお声がけいただきたい。	(委員) まちづくり協議会の中に防災指導員が入っていない地区があれば、会長に直接話をする。	防災危機管理課	修正なし
6	4	1-1-2	構成事業	プロジェクト「TOUKAI-0」	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定
7	5	1-2-1	高機能消防指令センターの記述	—	—	消防総務課	記載修正 <前期の主な取組> 富士宮市と共同運用している高機能消防指令センターの全部更新を行いました。 <主な取組> 消防指令システムを「高機能消防指令センター」に修正
8	5	1-2-1	消防団の地域防災との連携強化	消防団員のなりてが不足しているが、周知の方法について記載できないか。市として計画はないか。	子供向けのイベントやSNSによる情報発信や事業所との関係で商工会議所への働きかけ等の取組を行っている。団員確保の記載は要検討。	消防総務課	消防団員募集の広報及び団員確保を取組に追加記載し、消防団詰所に目的を記載する。 <主な取組> ・消防団員の処遇改善を図るとともに、イベントやSNS等を積極的に活用し、消防団員の確保に取り組みます。 ・消防団員が活動しやすい環境を整えるため、～
9	5	1-2-1	消防団の地域防災との連携強化	山火事が起きた際には分団員が活躍する。消防団に入りやすい取組が必要ではないか。	待遇の改善やOBを活用した機能別消防団員の制度を作って対応しているが、厳しい状況である。団員確保の記載は要検討。	消防総務課	NO. 8参照

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
10	7	1-3-1	施策1 防犯まちづくりの強化 《主な取組》 ・不審者情報の・・・市民や事業者、学校等との	安全なまちづくりを具体的にすすめているのは、安協・交通安全指導員会・地域安全指導員会と、町内会（区）・まちづくり協議会等であり、個々に記載できないので、「市民や事業者、関係団体、学校等」のように関係団体として挿入すべきと考える。	—	市民安全課	記載修正 《主な取組》 市民や事業者、関係団体、学校等との協働による安全なまちづくりを推進します。
11	8	1-3-2	自転車マナー街頭指導などの交通安全運動のほか、ヘルメット着用を促進するための啓発を実施します	女性指導員が各学校や地区で自転車ルールの啓発に尽力している。 高校生のヘルメット着用は義務化した方がよいと思う。	ヘルメットの着用については、学校ごとの取組で着用率が大きく向上している現状があるため、引き続きヘルメット着用促進やルール、マナーの啓発に続けて取り組んでいく。	市民安全課	修正なし
12	8	1-3-2	施策2 交通安全対策の推進 《主な取組》 ・飲酒運転防止意識	飲酒運転防止では、語意が弱すぎる。他のふさわしい言葉でもよいが、現在飲酒運転は犯罪の範疇にあるため「飲酒運転禁止もしくは撲滅意識」とすべきと考える。	—	市民安全課	記載修正 《主な取組》 飲酒運転根絶のための広報など交通事故防止に向けた街頭啓発を実施します。
13	8	1-3-3	安全・安心な消費生活の確保を図ります	富士市の消費生活センターに相談してとても助かった経験がある。引き続き安心して相談できる体制を継続してほしい。	相談してきた方が安心して対応できるよう、引き続き取り組んでいく。	市民安全課	修正なし
14	9	1-4-1	補助金の交付や研修の実施などにより、地域の課題解決力の強化を支援します	富士市の補助金制度には使い勝手が悪い。例えば高齢者支援課の補助金。	まちづくりに関係する部署で構成される庁内会議の中で、使いやすくなるよう改善を図っていききたい。	まちづくり課	修正なし 運用を庁内で検討
15	9	1-4-1	様々な人材のまちづくり活動への参画を図ります	地域の活動に女性が入りにくい雰囲気がある。また、ハラスメントを受けた経験もある。多様な人がいることを踏まえて色々な計画を作ってほしい。	引き続き、町内会・区長会説明会の中で、無意識な思い込みや偏見をなくすよう呼びかけていくとともに、女性をはじめとした様々な人材のまちづくり活動への参画を図っていききたい。	まちづくり課	修正なし
16	9	1-4-1	施策1 地区まちづくり活動の推進	市まちづくり活動推進審議会で、まちづくりの主体について以下のように大きく変更されたので、主な取組に「まちづくり活動の主体となってきたまちづくり協議会に、連合町内会（区）・単位町内会（区）を加えた地域コミュニティを活動の主体とし、開かれた住民参加型のまちづくりをすすめます。」を挿入すべきと考える。	—	まちづくり課	修正なし 次期計画では主体として町内会等も位置付けていくことはご指摘のとおりであるが、「住民参加型のまちづくりを進める」は取組ではなく方針に近いものである。町内会・区を主体として追加することに伴い、取組の中に「地域コミュニティを支える最も基礎的な組織である町内会・区に対して、組織や活動の維持を図るための支援を強化します。」を後期計画で新たに加えている。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
17	9	1-4-1	施策1 地区まちづくり活動の推進	「町内会（区）」と「地区」更に「地域」の違い、使い方を説明すべきと考える。	—	まちづくり課	修正なし 町内会・区と地区については、定義が一つであるため説明不要。地域については、総合計画全体として複数箇所で使用されており、その捉え方は文脈によって大きくも小さくもあると思われるため、説明することは難しいと考える。
18	10	1-4-2	前期の主な取組	市民活躍に関して市民と行政が協力して取り組んできた事業はもっとたくさんある。書き方を工夫してもう少し入れてほしい。	紙面上の制約はあるが、市民と行政が共同で進めている事業については、もう少し触れるように工夫したい。	市民活躍・男女共同参画課	市民と行政との協働についてより明確化するため、前期の主な取組の記載を整理し、次の項目を追加する。 <前期の主な取組> ・男女共同参画推進員（市民推進員・事業所推進員）を設置するなど、市民や市民団体、事業者との協働による男女共同参画の推進を図っています。
19	10	1-4-2	男女共同参画の推進	まちづくり協議会や町内会、民生委員などのリーダーが集まる場で、男女共同参画や多様性などの研修をしていただきたい。	各種団体で女性や多様な方の意見を反映できる仕組み作りは必要である。他の部署と連携して取り組んでいきたい。	市民活躍・男女共同参画課	修正なし 男女共同参画や多様性などの研修については「生活に身近な地域における啓発事業やセミナー」「ジェンダーに基づくあらゆる暴力を根絶するための啓発活動」「人権講演会」等において実施していく取組であるため、総合計画各論の記載に変更はないが、個別計画（第5次男女共同参画プラン）において、地域において女性や多様な意見を反映できるよう、効果的な啓発の方法や部署間の連携について検討していく。
20	10	1-4-2	現状と課題	アンコンシャス・バイアス	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定
21	10	1-4-2	前期の主な取組 基本方針 主な取組	セクシュアル・マイノリティ	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定
22	10	1-4-3	施策2 基本方針 外国人市民などの多様性	施策2の「主な取組」に外国人材の記載はなく、施策3のあらゆる個所に外国人の記載があるので、「外国人市民などの多様性」は、施策3にまわし、施策2から削除したらどうか。むしろ障害者に関して記載した方が良いのではないかと。障害者が生きづらい社会を目指すということは、どこかに入っているのか。	—	市民活躍・男女共同参画課	記載修正 <基本方針> 本施策では性別にとらわれない視点からの多様性の尊重について取り組む内容となっているため、「外国人市民」は削除する。併せて、性のあり方は「セクシュアル・マイノリティ」と言われる一部のみに限ったことではなく、誰もが「多様な性」の構成員であるとの考え方から、「性の多様性」と言い換える。 障害者に関する記載は、当施策の中では具体的な取組がないため記載せず、基本目標3での対応となる。

<基本目標2>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
23	11	2-1	子ども	ひらがなの「子ども」について、これまでの幼児や児童、生徒に加えて、若者が含まれたという認識でよいか。一般的に「子ども」と言うと、中学生までや18歳までというイメージを持ちやすいので、巻末ではなく初めに定義していただいた方が理解しやすい。	子ども基本法により、「子ども」は年齢によらず「心と身体の発達の過程にある者」と定義された。本計画でもその定義に合わせている。	子ども未来課	子ども基本法を踏まえ、特別な場合を除き平仮名表記の「子ども」を使用することを、政策分野2-1又は用語集に掲載する。（特別な場合は、法令に根拠がある語を用いる場合や、固有名詞（既存の予算事業名や組織名など）を用いる場合等。）なお、青年期の全体が射程に入ること明確にする場合には、わかりやすく示すという観点から、法令の規定を示す場合を除き、特に「若者」の語を用いることとする。
24	11	2-1	子ども	「子どもが大切にされるまち」の写真について、具体的な事業の写真の方がわかりやすい。	検討する。	子ども未来課、企画課	写真、文言修正
25	11	2-1	子ども	政策分野の名称は「子ども・若者」ではいけないのか。子どもは未成年をイメージしてしまう。	「子ども・若者」という言葉を使っている自治体もあるが、富士市では国に倣って「富士市子ども計画」を策定しており、本計画でもそれに準拠している。	子ども未来課	NO.23参照
26	11	2-1	子ども	年齢を重ねれば発達障害が治るわけではないので、大人になっても支援を受けられるのは良いこと。医療的ケアが必要な人について、わかりやすい表記をつくった方が理解しやすいと思う。	適切な言葉選びを行う。	子ども未来課、企画課	NO.23参照
27	11	2-1	「子ども」という表記について	分科会の中で、「子ども」は若者など全ての心身の発達の過程にあるものを指しているようだが、馴染みがなくわかりづらいという意見があった。浸透している言葉は積極的に使えばいいが、使われないと浸透もしないので、国が「子ども」という表記を使い始めたということは、市も積極的に使っていき、浸透させるぞという気持ちで進めていけばいいと思う。わかりやすいのは大事だが、新しい概念こそ役所が広めていかないと、伝えたいことも伝わらないのではないかと感じた。	—	子ども未来課	NO.23参照
28	12	2-1-2	多様な境遇にある子どもと家庭への支援	（主な取組の4ポツ目） 取組の対象が誰なのかわかりづらい。	教員に対する取組である。伝わりやすい文章に修正をしたい。	子ども家庭課	記載修正 <主な取組> 保育士や幼稚園教諭、小中学校の教員等を対象に研修を実施し、虐待をいかに早く発見するか、また虐待を受けた子どもをどのように支援をしたらよいかを学ぶ機会を設けます。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
29	12	2-1-3	(こどもの発達・成長に応じた支援)	こども発達センターはひらがなの「こども」を使っているが、利用可能な年齢制限はあるのか。施策の対象がわかりづらいという意見がある。	「こども」と「子ども」が入り混じっている状態であるため、理解しやすい表現を加えること等について検討したい。	企画課	NO.23参照
30	12	2-1-2、2-1-3	(多様な境遇にあるこどもと家庭への支援、こどもの発達・成長に応じた支援)	幼稚園を運営しているが、親の子育て能力の低下を感じる。また、困ったときにどこに相談したらよいかわからないとも感じている。自分の園ではケースごとの連絡先を整理しているが、そこがあいまいになっている園もある。各施策や施設について、年齢も含めた支援対象の範囲(支援の道筋)がはっきりすれば、それに伴って「こども」の枠もわかってくると思う。 困りごととその相談先について示したルートマップがあるとよい。	(こども家庭課) 虐待に関しては、ケースワーカーに相談いただければ、家族支援も含めて対応している。周知はある程度できている認識であったが、更なる周知を検討したい。 (企画課) 総合計画に盛り込むべきか、下位計画に盛り込むべきかを検討する。	こども家庭課	修正なし 相談先が判断できない場合でも、こども家庭課に連絡していただけるよう、幼稚園・保育園の園長会議で説明する。
31	12	2-1	基本目標2 政策分野1	《主な取組》や《構成事業》に富士市委託事業である「みんなの保健室 ふじユースクリニック FU-YU-CL」を取り上げることはないのか？ 市民活動のひとつですが、県内の市町で初めての開設で市の委託事業という位置にあるならば、市としても積極的に事業展開を支援していくものなのかと感じています。また、公共施設や店舗等月一回程度の開催ということだが、「気軽に相談できる、居場所を求めている若者」にとっては、常駐していないと周知しにくいのではないかと思います。	—	こども家庭課	記載修正 ＜主な取組＞ ユースクリニックは基本目標2政策分野1施策2の構成事業である「こども家庭支援事業」に含まれていることから、主な取組に、他の事業の内容も含めて「困りごとを抱えるこどもが気軽に相談できる体制づくりを行う」旨の記載する。実際の事業のなかで、PRにも力を入れ、実績をもとに頻度、開催場所等を検討しながら開催していく。
32	14	2-2-2	幼児教育・保育環境の整備	—	—	保育幼稚園課	現状と課題を他施策に合わせて一文に修正
33	14	2-2-3	子育てしやすい環境の整備	放課後児童クラブについて、収容人数の関係で待ちが出ている状況。指導員の技術向上だけではなく、ハード対策について記載することが必要ではないか。現在の状況で運営していくと問題が起ることと思う。	子どもの数は減っているが、女性の就労率上昇等により、想定よりも利用者が減っていない状況。施設のあり方に関する記載を加えることについては持ち帰って検討する。	こども未来課	記載修正 ＜主な取組＞ 放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブの提供する育成支援の質の更なる向上を図るとともに、施設の整備・環境改善などハード面の充実にも取り組みます。
34	15	2-3-1	自立し生きる力をもつ児童生徒の育成	—	—	学校教育課	現状と課題を他施策に合わせて一文に修正
35	15	2-3-1	自立し生きる力をもつ児童生徒の育成	—	—	学校教育課	記載修正 ＜主な取組＞ ・多様化する学びに対応した教育環境の整備に取り組みます。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
36	16	2-3-2	教育の質の向上及び環境整備	コミュニティスクールの意味を知らない方もいるのではないかと。どこかで説明をした方がよいと思う。	検討する。	教育総務課	用語集に掲載予定
37	16	2-3-2	教育の質の向上及び環境整備	—	—	教育総務課	現状と課題を他施策に合わせて一文に修正
38	16	2-3-3	(魅力ある高校教育環境づくりの推進)	高等教育機関に関する記載がないが、大学誘致等については何も考えていないのか。学校教育を考える中で必要だと思うが、あまり積極的ではないように見える。富士市で育った子どもたちが富士市で高等教育を受ける、という大きな目標があってよいのではないかと。富士駅北口や新富士駅の再開発を進めている中で、大学が来るという話を聞かない。他市はうまく誘致しているのだから、努力が足りないのではないかと。このタイミングを逃さずに頑張してほしい。	大学誘致は目指しているが、大学の都心回帰が進んでいる。その中で大学とのつながりをつくるため、地域政策課題に関する委託事業やフィールドワークの受入れ等を実施している。総合計画の位置づけとしては6-1-2になる。	企画課	修正なし 高等教育機関の誘致に関する事項について、各論における修正はせず、「推進にあたって」にて記載する フィールドワークについては、基本目標6に記載済
39	16	2-3-3	魅力ある高校教育環境づくりの推進	—	—	富士市立高校	現状と課題を他施策に合わせて一文に修正
40	18	2-4-3	文化財保存・活用の推進	市には様々な文化財があるが埋もれてしまっている。文化財について情報発信をして全国区にしていくための取組が必要ではないかと。	かぐや姫ミュージアムにおいて積極的に情報発信しているかぐや姫伝説等について、関係課とも連携しながら更なる周知を進めたい。	文化財課	修正なし

<基本目標3>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
41	19	3-1-2	保健（疾病予防の推進）	富士市は製造業従事者が多いこともあり、各種がん及び生活習慣病について、罹患率が高く、静岡県内でもワーストに近い。もっと情報発信をして、検診受診等につなげていくべき。 また、保健の政策分野の目標値を3.40にとどめているのは、そんなに力を入れなくてもよいと考えてのことか。	がんや生活習慣病の発症予防、早期発見等に関する普及啓発は課題と認識しているため、より効果的な周知活動を実施していきたい。目標値に関しては、未達であることから現時点では据え置きとしている。市の現状やこれまでの上昇率等を踏まえながら、担当課を交えて再検討を行う。	健康政策課 等	修正なし がんや生活習慣病の発症予防、早期発見等に関する普及啓発は課題と認識しているため、職域等も含め、より効果的な周知活動を実施していきたい。目標値に関しては未達成であり、また年度別の評価平均点にばらつきが見られることから、引き続き現行の目標値を維持していく。併せて、目標値の達成及び、年度別平均点の底上げに努めていく。
42	19-26	3		フレイルなどの用語については、最近一般的に用いられている表現を使用したほうがよい（フレイルは広く知られるようになってきた。）。	計画全体としてわかりやすい表現をするよう確認を行う。	福祉総務課、保健医療課 等	用語集に掲載予定 （フレイルは計画内で使用するが、用語集にて説明を加える。）
43	19	3-1-1	基本目標3 政策分野1 「主な取組」 フレイル状態を把握するとともに	フレイルは、加齢により心身の衰えた状態で、「ぜい弱・虚弱」を意味し、要介護の前段階だと思えます。従って、そうなる前の対策として『フレイル予防』を明記し、対策を推進すべきだと思えます。 フレイルには、筋力や内臓機能が衰える「身体フレイル」。気分の落ち込みや認知機能の低下による「心のフレイル」。社会的に孤立し、人との交流に支障が出る「社会性のフレイル」。あごやのどの力が衰え、食べる量が減り、栄養不足で体重も減る「口のフレイル」。があり、この4タイプのフレイルに対する対策を検討・推進することが必要だと思えます。	一	国保年金課、健康政策課、地域保健課	「フレイル予防」を明記し、予防の推進を図る。 ＜主な取組＞ ・後期高齢者の健康状態不明者やフレイルの状況を把握するとともに、関係機関と連携して通いの場の拡充等の体制整備を図り、フレイル予防を推進します。 具体的な取組については、各個別計画にて反映を検討する。
44	21	3-2-1	地域完結型医療の推進	新病院の建設に関する取組が、大きな事業にもかかわらず目立たない。書き方を強化すべきではないか。	検討する。	病院経営課、新病院建設準備室	記載修正 ＜主な取組＞ ・市立中央病院において、高度・専門医療の提供や二次救急体制の充実、地域医療連携の推進、災害医療体制の整備を進め、地域の基幹病院として役割を着実に果たしていきます。また、新病院建設基本計画に基づき、今後の医療需要を見据えつつ、安全で質の高い医療を地域に安定的に提供できる新病院の建設を推進します。 ・主な取組と構成事業内の順番を入れ替える。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
45	21	3-2-1	政策分野2 医療 施策1 地域完結型医療の推進 《主な取組》および《構成事業》	後期計画期間は富士市立中央病院新病院の建設から開院までを網羅している。新病院は本市の地域完結型医療を象徴する拠点であり、開院により救急や災害、周産期医療等の基幹的機能が向上する点、また、市債残高が増加する中、資材高騰に対応した事業費の精査や設計の合理化でコスト抑制を図りつつ推進する旨を加えることにより、事業の重要性と財政健全化への姿勢が市民に明確に伝わると思う。	—	病院経営課、新病院建設準備室	修正なし NO.44参照
46	23-28	3-3、3-4	包括的支援、地域福祉	包括的支援や地域福祉において、「支援」という言葉がたくさんでてくる。支援が支援になっていないということをよく耳にする。困っている方のニーズをどのように把握し、どのように支援につなげているのか。	※回答前に審議会終了、あらためて回答する旨は伝達済み	福祉総務課、障害福祉課、生活支援課 等	修正なし 本市では重層的線体制整備事業を実施しており、相談者の属性、世代、相談内容に関わらず相談を幅広く受け止め、抱える課題の解きほぐしや整理を行い、単独の相談支援事業所のみでは解決が難しい場合には、他の支援関係機関等と連携を図りながら支援を行うとともに、必要に応じて適切な関係機関にお繋ぎする「包括的相談支援」を行っている。 様々な相談窓口については、広報紙やウェブサイト、関係機関や団体等を通じた周知を図っており、課題を抱える方が相談・支援に繋がるよう努めている。
47	23	3-3-1	高齢者支援の推進	人口の3分の1が65歳以上になり、65歳以上の3分の1は認知症又は認知症の前段階にある。この状況を鑑みると、認知症に係る取組が弱いと感じる。認知症に関する施策をもっとしっかりやってもいいのではないかと。 認知症サポーターの養成数を指標とするには弱い。	ふじパワフル85計画を定めその中で認知症対策に取り組んでいる。現在次期計画を策定中で、その中で認知症に関する推進施策の盛り込み方について検討をしている段階。認知症サポーターの数だけでなく、キャラバンメイトを含めて、ただ数を増やすだけでなく、地域で認知症の方を支え、認知症の方が住みやすくなるような地域づくりに参画していただくことが重要なので、ご意見を活かし引き続き検討する。	高齢者支援課	修正なし 個別計画にて反映を検討する。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
48	23	3-3-1	高齢者支援の推進	認知症の前段階にフレイルとしてサインが現れる。フレイル予防をもっと前面に出して、対策と目標を明確に示す方がいいのではないか。	フレイル対策は重要と考えている。高齢者から始めるというより、より若いうちから始めるべきもの。施策の中にも書かせてもらったが、若い時期から受けられるサービスを設けている。また、生きがいづくりが介護予防、フレイル予防に繋がっていく。なんらかの形でご意見を反映したい。	高齢者支援課 等	修正なし 各個別計画にて反映を検討する。
49	23	3-3-1	高齢者支援の推進	認知症の人が、社会や地域の中で自分の役割を担うことができるような施策を出してほしい。そうしたシステムを作りこんでいくことが、これからの時代で一番大切。23ページの6点目の文言にも、役割を担い、といった表現を入れてほしい。	検討する。	高齢者支援課	修正なし 認知症の方が地域で役割を担うことは重要であり、そのための取組も進めてはいいが、本人の意思を尊重する必要があることから、本計画上では「その人らしく暮らせる仕組みづくり」という表現とする。
50	23	3-3-1	施策1 高齢者支援の推進に付いて 「認知症の方がその人らしく暮らせる仕組みづくりを推進」	2024年施行の「認知症基本法」や国の基本計画により、県内の自治体でも「認知症の人の声を施策に繋ぎようとする動き」もあり、『認知症条例を制定』し、認知症の人との対話を重ね、共に認知症施策を立案する方針も明記しております。また、認知症施策を検討する『常設の委員会』も設置しており、富士市もより具体策を明記すべきだと思います。また、認知症になっても出来る事があり、「認知症の人の活躍できる機会を増やす」ことが重要だと言われております。それにより、認知症への理解が広がり、地域の一員として暮らせると思うので、周囲の人達で見守るより「活躍の場の提供」を明記すべきと考える。	—	高齢者支援課	修正なし ・No.49参照 ・認知症施策推進基本計画策定に向け、認知症の人や家族の声を聴くために、認知症の人や家族を含めたワーキンググループの立ち上げやアンケート調査等を実施している。その声をもとに、認知症の人がその人らしい生活（日常生活・趣味・通いの場、役割を持てる場等）を送ることができるよう、計画策定をしていく予定。
51	23	3-3-1	高齢者支援の推進	介護予防とは、フレイル予防を含むものなのか。地域保健課が力を入れている認識だが、施策として入れる予定があるか。	(高齢者支援課) 介護予防は要介護状態を防ぐ目的ではあるが、大きい意味では含まれる。 (企画課) 例えば、3-1-1や3-4-2もフレイル予防につながるものであり、基本目標3に位置づけている複数の取組によって対策を進める。	高齢者支援課	修正なし

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
52	23	3-3-1	高齢者支援の推進	3点目の在宅医療と介護の連携について、もうちょっと踏み込んだ内容をかけるのではないかと。	具体的な取組を例示する等、記載を検討する。	高齢者支援課	記載修正 ＜主な取組＞ 切れ目のないサービスを提供するため、研修会の開催などを通して在宅医療と介護の連携を推進します。
53	23	3-3-1	高齢者支援の推進	MCIの状態を検診の中でチェックする等の施策が必要ではないかと。まずはMCIであることを意識してもらい、そこから認知症に進まないように働きかける方が、市民からすれば身近に感じられるのではないかと。計画の中に、MCIという状態について知ってもらうための取組を入れてほしい。	(高齢者支援課) 基本チェックリスト等を用いて、認知機能の自己チェックを行えるようにしている。そこから相談窓口や医療機関につながる大切である。周知等を継続していきたい。 (企画課) 取組の記載については関係課と検討する。	高齢者支援課、健康政策課 等	修正なし 認知症やフレイルのリスク低減に向け、基本目標3に位置付けた複数の取組にて対策を実施していく。具体的な取組については、各個別計画にて反映を検討する。
54	24	3-3-3		発達障害に関して、グレーゾーンの子どもの数が増えていると聞いた。そういった子どもは就労における壁にぶつかると思うが、社会教育としてリカバリーするような取組はあるか。また、切れ目のない支援につなげるための他機関連携は実施しているのか。	(生活支援課) 働きづらさを抱えたすべての人に対し、ユニバーサル就労という形で支援している。1人でも多く窓口へ繋ぐことができるよう、高校を含めて様々な周知を行っている。また、他機関連携は実施しており、ユニバーサル就労支援センターの案件の半分は他機関から繋いでいただいたものとなっている。	生活支援課	NO.46参照
55	25	3-4-1	地域で支え合い助け合う体制の強化	—	—	福祉総務課	記載修正 ＜主な取組＞ 「努めます」を推進や図るに修正
56	26	3-4-2	施策2 地域交流の推進 基本方針 気軽に参加できる交流の場づくりを進める	高齢者にとってはより身近な交流の場が必要であり、今後の『空き家を活用した交流の場づくり』も検討すべきではないかと考える。	—	高齢者支援課	修正なし 「空き家」を活用することは、選択肢の1つとして考えられるため、生活支援体制整備事業の中で、支え合い活動と合わせて、地域での検討を提案していく。

<基本目標4>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
57	27	4-1-1		ゼロカーボンチャレンジ、コージェネレーションの用語の意味が分からない。	用語集に掲載する。	環境総務課	用語集に掲載予定
58	30	4-3-2		マイクロプラスチック等、海洋におけるプラごみの回収はどのように取り組んでいるか。	そこまで取組が及んでいない。	廃棄物対策課	修正なし 海岸清掃を行うことで、海洋プラスチックへの取組を行っている。
59	31	4-3-1	廃棄物の3Rの推進	3Rという用語が、市民になじみがない言葉。巻末にのせるのではなく、同じページに注釈を入れるか、(リユース、リデュース、リサイクル)などカッコ書きにしてはどうか。6Rになるとなおさら分かりにくい。「再利用」等日本語にするわけにはいかないか。	造語なので、記載方法を検討する。3Rは一般的な言葉になりつつあると考え使用したが、市民の方の感覚を考慮し表記を工夫したい。	廃棄物対策課	同じページで補足説明をつける。
60	33-34	4-4-1	政策分野4 水利用	水資源に関する満足度富士は高い。富士のよさの一つとしてもっと外に自慢してもいいのではないか。市民が誇りを持つ要素の一つだと考えている。	おいしい水を安全に市民に供給することを第一に考えていたが、今後おいしさのアピールにも力を入れていきたい。	上下水道経営課	修正なし
61	33	4-4-1	安全で安心できる水道水の持続的な供給	—	—	上下水道経営課	各簡易水道組合に追記 <前期の主な取組> 地域住民が運営する各簡易水道組合～
62	34	4-4-2	生活排水対策の推進	—	—	上下水道経営課	終末処理場の放流水質の記載修正 <前期の主な取組> 終末処理場等から放流される水の水質を～

<基本目標5>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
63	35-48	5	政策分野名	前期から政策分野を変更したものについて、一貫性がなくなるのではないか。なぜそのように変更を加えたのか理由は。	前回の審議会にて説明済み	企画課	修正なし
64	35	5-1、5-2		CNFやものづくり力交流フェアなどの情報が若い人に行き届いていない。市の方で、アンケート等で把握している情報はるか。	対象に合わせた情報発信に取り組んでいるものの、今後も継続的にターゲットを意識した情報発信をしていく。	産業政策課	修正なし
65	35	5-1、5-2		市からどういう課題があるのかが示されていると、改善に向けて、課題提起できることから、そのように対応いただけるとよい。	(当日回答なし)	産業政策課	修正なし
66	35	5-1-1	新産業・成長分野の領域	CNFは以前から取り組んでいると思うが、他には何かないのか。	CNFの促進については、いま3期目。素材分野は、取り組みが見えにくいのが、医療系やモビリティなどでも展開しているほか、食品でも活用がある。	産業政策課	CNF関連をまとめ、新産業創出関連を追記 <主な取組> 「産学や異分野・異業種の交流・連携の促進等により、新産業創出や新製品開発の機運を高めます。」など
67	35	5-1-1	新産業・成長分野の領域	AIとかいろんな産業があり、時代背景も変わっている中で、CNFにこだわって見える。新しい分野にもチャレンジしていく姿勢が欲しい。富士市の産業に明るい未来が見えるような、活力を感じるような方向で。いろんな産業があるので、そこをしっかりと目を向けていただきたい。	CNFには、今まで投資してきているところがあるので、このような書きぶりにはなっている。	産業政策課	NO. 66参照
68	35	5-1-1		CNF	用語集に掲載する。	産業政策課	用語集に掲載予定
69	36	5-1-3	・民間遊休地の情報や所有者の土地利用意向の把握に努め、工業系土地利用の更なる推進に取り組めます。	第4期フロントをやるといふことでのいのか。積極的に次々と工業団地の造成の可能性について検討して参りますのような表現があるとよい。	第4期としては決まっていない。	産業政策課	記載修正 <主な取組> 「完成させる」という言いきりを「完成させるなど」とし、含みを持たせた言い回しに修正
70	36	5-1-3	・民間遊休地の情報や所有者の土地利用意向の把握に努め、工業系土地利用の更なる推進に取り組めます。	可能性の模索について、確かにあるかなと思いますので、検討ください。	(当日回答なし)	産業政策課	修正なし
71	36	5-1-3	企業の誘致と留置を推進します。	施策名「企業立地の促進」からするとミスマッチの印象がある。	(産業政策課) 担当としては誘致も留置もやっている。 (委員) 企業が拡大する際に、市内に用地がないと出て行ってしまうということもある。	産業政策課	修正なし

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
72	36	5-1-2	経営基盤強化	例えば中小企業の、商品開発に関わる開発費のどこの支援っていうものってどこかに掲載があるか	経営革新計画事業への補助金やデジタルマーケティング、ECサイト出展への補助などをやっている。	産業支援課	修正なし 新商品・新技術・新役務開発費については、中小企業経営革新事業補助金があるが、本文中の経営基盤強化支援事業に含まれている。
73	37	5-2-1	認知向上や販路拡大の取組を支援し、地場産業の振興を図ります。	商品をどれだけPRしていくのか、営業をしているかということで、市外へ出て行って、企業の方とも営業活動と一緒にやっているのか。	富士ブランドについては、補助金として展示会出展等の支援をしている。	産業政策課	修正なし
74	37/41	5-2-1 5-4-1	ものづくり人材の育成	ものづくり人材の育成の視点が大事。静岡市、沼津市には職業訓練のための県立の工科短期大学校（テクノカレッジ）があり、富士地区にもそれがあれば従業員の定着に繋がると思う。工業振興計画の中に視点を入れるなどでもよいので取り組んでほしい。	（当日回答なし）	産業政策課（商業労政課）	修正なし 本年度工業振興ビジョンの作成に入るため参考意見とする。
75	38	5-2-3	田子の浦港のにぎわい	今回は、大型客船が来なくてにぎわいが寂しく感じるので、ぜひ発展させてほしい。	（当日回答なし）	産業政策課	修正なし
76	38	5-2-2	施策2 商業振興及びまちなかの活性化	まちなかの活性化に、インバウンドや、市外県外の人たちが、周遊するような方を考えているが、どこで読み込めばよいか。現在の記載だと、イベントの実施と読めるが、個人の旅行者たちがこうグルグルグルグル遊んで回れるような商店街にしたいなっていう思いを入れ込みたい。	観光や周遊となると、基本目標6の方ともちょっと整合取る必要があるが、こちらのまちなかの活性化にも入れることについて検討する。	企画課、商業労政課	記載修正 <主な取組> TMOや商店街振興組合では、インバウンド向けに飲食店や体験教室、寺社等をSNSで紹介する取組を行っているため、主な取組の「TMOや商店街等の関係団体が実施するイベントや活動を支援するとともに・・・」に修正する。
77	38	5-2-3		クルーズ船の誘致を入れた方がよい。	（企画課） ポートセールスに含まれている。	産業政策課	修正なし
78	38	5-2-2	にぎわいの創出に向け、大規模集客施設の誘致に取り組めます。	現状の課題では郊外の大規模店舗の進出によって厳しい状況であるため、個店の情報発信強化の支援が求められてるって書いてある背景があるにもかかわらず、主な取り組みに、大型大規模集客施設の誘致に取り組めますとある。ここの背景と取り組みのギャップがあると感じたので、背景を変えるのか、取り組みを変えるのか、検討してください。	政策的に大規模集客施設が出てはいるが、整理をする。	企画課、商業労政課	記載修正 <現状と課題> 内容を整理し、個店の魅力発信のほか、消費者の多様なニーズに応えながらにぎわいの創出を目指すといった記述とする。
79	38	5-2-3	田子の浦港のにぎわい	ゴジラの映画も活用できないか	（企画課） 60周年事業でやる。 （産業政策課） 契約の関係上、まだお話できない。	産業政策課	修正なし

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
80	39	5-3-1	お茶やトウモロコシなどの地場産品の魅力を周知するため、イベント等でのプロモーション活動を推進します。	他にもたくさんの農産物があるが、トウモロコシを入れている理由は。	前期の計画期間に、わくわくコーンがかなり注目を集めており、新しい作物のPRに、農協と協力しながら推進をしている。ただ、違和感があるということであれば「お茶を代表した富士市の農作物」というように変更することもできる。	農政課	記載修正 <主な取組> トウモロコシの記載は削除し、言い回しを修正する。
81	41	5-4-1	施策1 人材の確保及び就労の支援	都市部に出て、Uターンで戻ってくれるよう、行政と企業と協力して、今後雇用が増えていくような形で取り組みができればいいのかなというふうに思う。	(当日回答なし)	商業労政課	修正なし
82	41	5-4-1	人手不足	A Iの発達により、逆に失業率が増える懸念があるが、対策する部署はあるのか。	外部組織の人材育成部会では、事務的なA I活用よりも、生産性向上につながる活用について議論をしている。まだ具体的な方針は出していないが、今後の内容に反映したい。	産業支援課	修正なし 中小企業等振興会議における人材確保部会では、製造業の人手不足を解消する手法のひとつとして、A I活用をどのように位置づけるかについて検討を進めている。現時点では、生産性向上につながるA I活用策を重視しており、具体的な方針は定まっていないものの、A I活用による事務職の雇用への影響について、今後部会での検討項目とするかを検討する。
83	41	5-4-1	ハローワークや富士商工会議所、富士市商工会等と連携し、市内企業等が出展する就職イベントを開催するなど	合同企業ガイダンスのことだが、人が集まらないことから、今年からやる取り組みを変えました。マッチングシステムみたいなのに変えたので、書き直していただきたい。	(当日回答なし)	商業労政課	記載修正 <主な取組> 合同企業ガイダンスについては情報発信事業と伺っているため、その旨記載修正。合同企業ガイダンス以外にも、関係団体と「はぐくむFUJI応援！就職相談会（新規／オフィシャルサポーター認定企業と連携）」、「就職面接会（継続／ハローワーク共催）」等の事業を展開予定のため、「各種イベントの展開」の文言を盛り込む。
84	41	5-4-1	市内企業等と若者世代との交流機会を提供し、U J Iターン就職を促進します。	U J Iターンの中でどれが一番多いのか。	(シティプロモーション課) 移住の施策で、移住の補助金を使った施策としてはUターンが一番多いと思う。 (商業労政課) 就業は今データがない。	シティプロモーション課、商業労政課	修正なし 審議会終了後に確認したが、Uターンの就業に関するデータはとっていない(商業労政課)
85	41	5-4-1	市内企業等と若者世代との交流機会を提供し、U J Iターン就職を促進します。	Uターンがもし多いとするならば、高校生ぐらいに何か働きかける事業等があった方がよい。県外の大学生への訴求も必要だが、地元の高校生へも必要であることから、何か読み取れるような表現にしてほしい。	(当日回答なし)	商業労政課	記載修正 <主な取組> キャリア教育を通じて地元の高校生に対しても、郷土愛の醸成や企業の認知度向上などといった将来的なUターン就職の動機付け等、地元就労促進のための事業を展開しているため、その旨を盛り込む。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
86	41	5-4-1	市ウェブサイトや市公式SNS等を活用し、県外の学生等に対し、富士市での就職をPRします。	市内企業側からすると県内の大学が一番ヒットすると思う。県内という文言も入れてほしい。	(当日回答なし)	商業労政課	記載修正 <主な取組>「県外」を「県内外」に修正
87	41	5-4-1	U J I ターンについて	大学への進学で県を離れた友人の、県内就職の情報の見つけ方がわからないという話を聞いた。そういった人に対して地元での就職に関する情報があれば、市に戻ってきやすくなるのではないだろうか。また、市に戻る選択肢を持っていない人に対しても、東京や大阪等の大学にチラシを配布したりネットでイベントが調べやすくなったりすれば、就職を機に市に戻る選択肢も生まれるのではないだろうか。	—	商業労政課	修正なし 主な取組の「市ウェブサイトや市公式SNS等を活用し、県内外の学生等に対し、富士市での就職をPRします。」を展開していく上での参考とする。
88	42	5-4		子どもたちは、会社工場って本当は何を作っているのかっていうのがあまりよくわかってないと思う。ティッシュでは世界的に有名なブランドもあるからそれをうまく伝えられたらよい。	キャリア教育ということで、小中学校の高学年の子供たちに地元の就労を促すような、総合学習の中でやっている事業を実施している。	商業労政課	修正なし

<基本目標6>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
89	43-50	6	昔からのコンテンツについて	超かぐや姫、さもにゃんのような新しいものだけではなく、古くからのコンテンツも大事にしてほしい。例えば、曾我兄弟はスタンプラリーが好評でよかった。クリテリウムやアルティメットなど大きな大会もあるが、もっと昔から繋がっているものを記載してもよいかと思う。	新しいものだけでなく既存の取り組みも含めた書き方を検討する。	企画課 等	修正なし 新しいコンテンツに限らず、既存のコンテンツも含めた様々な観光資源を活用していくものとして施策2の主な取組を記載している。 自転車事業は、第六次計画の基本目標6の中で力を入れている事業であるため、サイクルロードレースなどを特出して記載している。本市では、アルティメットも含めて多くの全国大会規模の大会が行われていることから、様々な競技に対応するように「全国規模のスポーツ大会」と記載している。
90	43	6-1-1	ブランドイメージなど	市の公式のSNSを通じた情報発信では、フォローしていない人が情報に触れるようなやり方を考えてはどうか。	インスタグラム広告など、プッシュ型の発信についても取り組みを始めている。	シティプロモーション課	修正なし
91	43	6-1-1	ブランド強化	キティちゃんの人形をもらえると聞いたがどういう取組か。	市制記念日とキティちゃんの誕生日が同じ縁で、60周年の記念アンバサダーになってもらった。この人形の件は、120体の記念人形のことであり、5,000件程度の申し込みを受けている。	シティプロモーション課	修正なし
92	43	6-1-1	市民向けのプロモーション	外向けの発信だけではなく、市民が市の取り組みを知って自信を持てるよう、内向けの周知を強化すべきだと思う。シティプロモーションって何か外向きのイメージがあるが、内に向けてしっかりと愛着と誇りを持てるような文面が少し強調されるとよいと思う。	(当日回答なし)	シティプロモーション課	記載修正 市民向けの取組でもあることを表現に組み込む。 <前期の主な取組> <主な取組> 「市民のまちへの愛着と誇りを醸成」を追記する。
93	43	6-1-1	LINEの活用	情報発信が分かりにくいことについて、LINEの活用が少し少ないのかなというふうに感じているが、使い分けなどはしているか。	情報発信が多いとブロックされる可能性もあるので、大体1日1個ぐらいのやつを送っている。情報を選びながら皆さん欲しいという皆さんに届けている。	シティプロモーション課	修正なし
94	43	6-1-1	本市に愛着と誇りを持つ人を増やす取組を進めます。	対象者が外向きなのか内向きなのか。外の人に愛着と誇りを持ってもらうって何か違和感があって、ここをしっかりと分けた方がよい。対内的なものを強化するのか、内外同じ力でいくのかを分かりやすく表現してほしい。	(当日回答なし)	シティプロモーション課	記載修正 市内外が対象であるが、市民向けの内向きの取組にウエイトを置いていることを表現に組み込む。 <主な取組> 「市民のまちへの愛着と誇りを醸成するとともに」を追記する。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
95	43	6-1-1	次代を担う子どもたちがまちに愛着や誇りを持てるよう、庁舎見学や出張ワークショップなどを実施します。	これで、愛着誇り持てるのかなと思う。イメージがわきにくいので、もう少し少し見直されたほうがいい。	(当日回答なし)	シティプロモーション課	記載修正 子ども向けの取組が広く読み取れるような記載に修正 <主な取組> 「庁舎見学」を削除し、「地域の魅力や資源を知ってもらうための取組」を追記する。
96	44	6-1-2		幼小中の連携は整いつつあるが、高校との連携が難しい。自分の園で高校生の1日保育体験を試みているが、その経験が幼稚園教諭を目指すことにつながり、実際に市外の大学から戻ってきたというケースがあった。単体では動きづらいので、市がフィールドワークの取組を色々な大学等に広げてもらえるとうありがたい。	施策において参考にさせていただく。	企画課	修正なし 個別の取組において実施
97	44	6-1-3	施策3 ≪主な取組・市内での新生活を応援する結婚新生活支援補助金の周知・啓発及び結婚を望む方に対し市内での出会いの機会創出を図るとともに、移住への関心を高め、定住を促進します。≫	いまは移住定住で結婚施策をやっているのか。地元の人と、外の人を会わせるようなものか。 (移住施策と結婚施策が)連携していることが確認できれば良い。	結婚は福祉総務課の施策であり、別の取組にはなっている。	シティプロモーション課	出会いの機会創出と移住促進のつながりがわかるよう記載修正 <前期の主な取組> 各種補助金の交付等により、移住者の支援に加え、若い世代の定住を促すための新婚世帯への支援も行っています。 <主な取組> 市内での新生活を応援する結婚新生活支援補助金の周知・啓発を行うとともに、結婚を望む方に対し市内での出会いの機会を提供し、本市への関心を高めることで、将来的な移住・定住の促進に繋がります。
98	44	6-1-3	結婚支援	市内での出会いの機会を創出を図ると、移住への関心が高まるように見える。市内の出会い促進により、移住に繋がるのがよくわからないことから、整合を取ってほしい。	(当日回答なし)	シティプロモーション課	NO.97参照
99	44	6-1-3	移住定住の促進	—	—	シティプロモーション課	現状と課題を他施策に合わせて一文に修正

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
100	45-46	6-2		前期の主な取り組みに対して、現状と課題があり、主な取組に繋がっている構成になっている。例えば施策1であれば、前期の取組で、デジタル音声マップを試験導入しましたとあるので、それを受けた今回の取り組みがあってもいいんだと思う。 施策3では、前期に人流マーケティングツールを導入しましたとあるので、これを受けて、今回の取り組みがあったほうがいいと思う。わかりやすくしてほしい。 簡易観光案内所の開設とあれば、これをどう活用していくかというところも記載した方が、繋がりが見やすい。	(当日回答なし)	交流観光課	施策1～3における後期基本計画期間の主な取組が、前期の主な取組や現状と課題に対応するよう記載内容を修正
101	45	6-2-1	富士山夢の大橋	当初、車や交通ルールなど課題があったと思うが、現在、課題として認識してるものはあるか。	駐車場は、新たに広いところを借りることで、警備員を配置しているので近隣への迷惑は軽減している。 大橋に来た人たちを、どう富士市の中で観光をしていただきたいというところは、課題である。	交流観光課	修正なし
102	45	6-2	観光の施策	6-2-2観光資源の活用の中に富士山の活用も含まれていると思う。スポーツとか文化の観光とかそういったものを、もう1個施策として入れてもよいのではないか。ただ、富士山をいれたいという意思なのか。	富士山は、富士市を代表するアイコンであり、観光客もおそらく富士山目的が多い状況のため、特出して施策の1つに位置付けている。	企画課	修正なし
103	46	6-2-2	観光資源	超かぐや姫について、どのような取り組みしてるのか。	ネットフリックス発の作品で、富士市をコラボをしている。作品の人気が出ており、スタンプラリーも盛況であり、市内を周遊することから公開はあると思う。今後もコラボ展開はあるが、突発的なヒットのため、製作側が追い付いてないところもある。イベントも著作権や製作側の都合もあり、少しずつではあるが取組を進めていく。	交流観光課	修正なし
104	46	6-2-2	観光資源の活用	刀剣乱舞では、遠方からも多くの人に来てくれて、地元の地域資源について気づかされた。一過性にならないとよい。	(当日回答なし)	文化財課	修正なし

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
105	46	6-2-2	観光資源の活用	岳南電車とかに関する記述みたいのが少なかった印象。主な取り組みとかも実際にやっていると思うので、何か記載するのはどうか。	(企画課) 主な取り組みの中で産業資源ですとか、大枠の中で含まれてるような今書き方になっているが、個別の事象をどこまで出していかってということは検討する。	交流観光課	修正なし 個別の民間事業者名は挙げずに、民間主体による観光事業の創出などの表現とする。
106	46/48	6-2-2、6-3-2	スポーツ観光	観光基本計画を改定していると思うが、スポーツ観光の視点を入れてほしい。そうすれば、料理飲食業界とか旅館業界とかも潤うと思う。	(当日回答なし)	交流観光課	修正なし 観光基本計画の施策に「スポーツツーリズムの推進」を位置づけている。
107	47-48	6-3		スポーツ交流の方が、色々なスポーツのことを理解するのにはいいのかなと感じるので、本来であれば、スポーツ交流の推進が先にあるのかなと思うが、施策の順番には何かを作って意図があるものですか。	総合計画は市民のためのものだという考えから、市民向けスポーツの施策が先に来ているものと理解している。	交流観光課	修正なし
108	47	6-3-1	だれもがいつでもいつまでもスポーツに親しみ交流が生まれるまち	スポーツ人口で、30、40代の方が多分少ないと思うが、それに対する対策は何かあるか。親子対象のイベントなどで、自然と子供と一緒に親御さんもやっていくような方向がいいかなとは思っている。	30、40代の特に女性にとって難しい点は把握している。親子スポーツ教室では、子供と一緒に親も参加することで、子供にどのように教えたらよいかを体験してもらっている。また、エンジョイスポーツデーでは、年齢を幅広く幅広い世代で参加してもらっている。	文化スポーツ課	修正なし 30、40代の特に女性が、家庭事情等でスポーツすることが難しいという声は聞いている。市では、親子スポーツ教室を開催し、子供と一緒に保護者も参加し、子供にどのように教えたらよいか等を学びながら体験できる機会を作っている。また、エンジョイスポーツデーでは、幅広い世代の方が参加できるような内容を企画・実施している。
109	48	6-3-2	観光	スポーツ観光だけでなく、文化観光にも落としていければよい。	スポーツの施策2 スポーツ交流の推進のところには今回は含めるような形になっている。スポーツ合宿の誘致や、スポーツツーリズムという言葉で示している。文化交流は政策分野4にある。	企画課	修正なし
110	48	6-3-3	スポーツ環境の充実	老朽化した施設は、大変建設費用がかかると思う。県外や市外の方は、高めに値段設定するなど、対策はありますか。	料金設定の検討はしたが、不公平感のないように、利用状況も見ながら考えていきたい。	文化スポーツ課	修正なし 利用状況等を見ながら、今後の参考とする。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
111	49	6-4-1	文化芸術活動の振興及び文化交流の創出	ピアノ協奏曲（合唱付き）「見よ西風からの富士」を35年前、三枝成彰作曲で1千万円で作りました。わかふじ国体でピアノコンクールを開催したり、市制10周年、20周年と堤俊作指揮、ピアノ神谷郁代で開催しています。その後この作品はお蔵入りです。是非市民にこの作品を披露し、全国に世界にも認知させたい。	—	文化スポーツ課	修正なし 「見よ西風からの富士」について、本市の貴重な文化資源であると認識しており、11月1日の市制施行記念日に開催している表彰式典において、毎年、本作品の録音CDを会場で放送し、多くの来場者に鑑賞いただくことで、作品のPRと継承に努めている。今後の活用や発信のあり方については、総合計画によらず個別に検討し対応していく。
112	50	6-4-3	オーシャンサイドとの交流	オーシャンサイドに対する補助が足りないんじゃないか。	事業に対するニーズは高く、募集人員を増やしている。燃料費高騰対策として、参加者への補助金について10年前から変わっていなかったものを、今年度、倍にした。また、関係性継続のための仕掛けもしている。	交流観光課	修正なし 事業に対する申込人数が増加していることから、募集人員を増やしている。参加者への補助金については、10年前から補助額を変えていなかったが、燃料費等の高騰対策などから、今年度から補助金額を倍にした。また、関係性継続のための仕掛けもしている。
113	50	6-4-3	国際交流の促進	スポーツは単体の政策分野で、文化・国際は一緒になっているが、文化分野における国際交流ととらえられてしまわないか。 鷹岡の王子製紙のレンガ倉庫は文化遺産としての価値があり、観光資源となり得る。	（当日回答なし）	企画課	修正なし

<基本目標7>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
114	51	7-1-1	土地利用の適正化	富士市は利活用できる土地が少ない。工業団地以外でも使える土地を作ってもらいたい。	現在、用途地域のガイドラインの策定を進めており、土地利用に関する課題を整理中であるため参考意見としていただく。	都市計画課	修正なし
115	51	7-1-1	土地利用の適正化	土地利用の適正化はスポンジ化の防止に繋がっているということが良いか。	集約・連携型の都市づくりを進める中、まちなかに都市機能を誘導するとともに、空き家対策や低未利用地の活用促進により、都市スポンジ化の抑制を図っている。	都市計画課	修正なし
116	52	7-1-2	ウォーカブルなまちづくり	ウォーカブルやウェルビーイングなどカタカナの用語が度々出るが、国の方針にとられず、富士市として独自に分かりやすい文言にしてはどうか。	参考とする。	企画課	修正なし
117	52	7-1-3	空き家・空き地の増加抑制	他の自治体で、空き家を移住者が借りて住み、一定年数が経過すると所有できるという取組が始まったが、富士市では同様の事業を考えていないか。	まったく同じではないが、使える空き家は市場に出したり、空き家バンクを活用するなど、ソフト事業の取組を進めている。	住宅政策課	修正なし
118	52	7-1-3	施策名	都市のスポンジ化	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定
119	53	7-2-1	AIオンデマンドバスの運行	アプリでの予約が必要など、交通弱者の人には難しそうな表現であり、実際にアプリが使えるのか疑問である。文言などもう少し寄り添った形にはできないか。	AIオンデマンドバスという言葉からスマホアプリによる利用をイメージすると思うが、実際には電話での利用も可能としており、高齢者の方をはじめ多くの方に利用いただけるように事業を運用している。	都市計画課	修正なし
120	53	7-2-1	構成事業	MaaS	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定
121	54	7-2-3	市営駐車場・駐輪場施設において、適切な整備及び維持管理を行い、利用者の利便性向上を図っている	借りていた駐輪場が使えなくなり、非常に困った経験から駐輪場は課題だと思っている。富士駅北など駐輪場の利便性の向上は図られているのか。みんなが安心して置けるような場所を確保していただきたい。	現状では、道路施設の老朽化の課題についてのみ記載している。利便性の向上など表現について少し検討する。	建設総務課	記載修正 <前期の主な取組> 駅前広場や市営駐車場・駐輪場施設において、利用者の利便性を確保するため、適切な整備及び維持管理を行っています。 <主な取組> 利用者の利便性を継続的に確保するため、市営駐車場・駐輪場施設の長寿命化や再配置に取り組みます。
122	56	7-3-2	民間活力の導入などを通じて、公園・緑地の利活用を推進する	民間活力をどのように推進して、どのような結果を想定しているのか。	民間の資金力や専門的なノウハウを活用することで、カフェ、交流スペースなど、魅力的な機能を備えた公園運営が想定され、市の財政負担の軽減やサービス向上につながるかと考えている。	みどりの課	修正なし

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
123	56	7-3-2	市民の花「バラ」の普及推進を図ります	外国人観光客も増えている中で、駅前にバラを綺麗に飾ってほしい。 駅前にバラがあるとシティプロモーションや集客につながって良いと思う。	バラの普及促進の一環として、新富士駅前や富士駅北口でどういったことができるかは、関係する部署と協議していく。	市街地整備課	修正なし
124	56	7-3-2	主な取組	ストック再編	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定
125	56	7-3-2	施策2 花と緑の環境の創出 《現状と課題》	近年大規模公園の整備がすすむ一方で、親子ずれで遊べる遊具のある公園は減少しています。子育てしやすいまちを目指すのであれば、小規模ながらも身近に自宅から歩いていくことのできる公園が点在しているほうが好まれると思う。新たに用地買収をせずとも、遊休地、神社敷地、町内の公会堂用地などを調査し、そこに遊具を設置するのも一案としますので、現状と課題に「小さな子供の遊び場が不足しており、小規模ながら歩いていける身近な公園の整備・再配置の必要があります。」などを挿入すべきと考える。	—	みどりの課	修正なし 当市において、親子連れで遊べる遊具のある公園は減少しておらず、現在も市内各地で身近に利用できる公園の整備を進めている。また、遊休地や神社敷地、町内の公会堂用地などに遊具を設置する場合、維持管理については町内会が行うこととなるが、当市では、安全で快適な遊び場づくりを支援するため、町内会等による遊具の新設や改修に対する補助金を設けている。これらの制度を活用することで、地域の実情に応じた遊具の設置や環境整備が可能となっている。
126	56	7-3-3	前期の主な取組	長期優良住宅 ZEH	用語集に掲載する。	企画課	用語集に掲載予定

<その他>

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
127	全体			情報化を進めるにあたり、アプリやスマホが難しい方への市の取組はあるのか。	デジタル活用として、情報弱者と言われるようなスマホ操作が難しい方などへの講座を行うなど、地道に取り組んでいる。	企画課	修正なし
128	全体			富士市では、興味を持って調べれば様々な情報が手に入るが、そうでなければ情報が入ってこない。もう少し情報発信を工夫してほしい。	市でも必要な情報を必要な人に確実に届けるといった課題や拾わなくても届く情報発信の手法の課題など認識しており、全庁的に伝わる広報を意識して業務にあたっているので継続して取り組んでいく。	企画課	修正なし
129	全体		SDGsアイコン	見づらい	(当日回答なし)	企画課	修正なし 最終的なデザインは専門業者に委託し、少しでも見やすくなるようにする。
130	全体		総論 3つの視点のうちウェルビーイング	各論の中で、ウェルビーイングの考え方をどのように生かしていくのか	国による主観データの指標は、この政策分野の成果指標と、ある程度の繋がりがあると認識しているが、繋がりがよくわからないみたいな部分があることから、どのように各施策に反映させるかは次回まで検討する。	企画課	修正なし ウェルビーイングの視点は、めざす都市像の近いところで政策分野ごとに設定している「将来のまちの姿」になっているかどうかは市民の幸福度に近いと考えている。 このため、ウェルビーイングは指標として新たに管理することはせず、ウェルビーイングの視点を導入することにより、より成果指標の重要性が増すと考えている。 指標については、国や県が行っている調査を参考としながら、各分野における政策立案の際の参考として活用し、施策の実行につなげていく。
131	全体		モニター意見の反映について	前期の主な取り組みから、結果が見えてなく、モニターが出した意見がどういったふうに使われてるのが不明瞭である。どのように解決を目指すのかももう少し見える化をしてほしい。	モニターからいただく意見のうち、一番の役割は、成果指標の評価。総合計画は総花的なものであり、具体的な意見は、個別計画にて反映していくことになる。ただ、具体化できるようなところは、見直したい。	企画課	修正なし モニターアンケートは、成果指標の把握のために実施している。 成果指標を測定した結果は、庁内で共有し、ホームページにも掲載している。 自由意見もあるが、総合計画に施策の方向性として示すための参考とするよりも、個別計画や通常業務の中で対応するような個別の具体的な意見が多い。

NO	ページ	基本目標等	該当箇所	意見等	審議会当日の回答	担当課	修正後の内容及び理由、後日回答等
132	全体		わかりづらい単語や馴染みのない単語について、巻末に用語集をつけることについて	前期計画では基本的にページ内で脚注をつけており、巻末にはついていなかったが、なぜ後期計画では巻末にしようとなったのか疑問に思った。ページの下部に脚注をつけるか、単語に直接かっこ書きで説明を加えても良いのではないかと考えた。 用語の説明にとどまらないものについては巻末脚注でも良いのかもしれない。	—	企画課	用語集とともに、各論の中で補足できる用語については、説明を記載する。